

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>

E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-A348A/J	Rev.	第1版
題名	H8SXのブロック転送命令における制限事項		情報分類	技術情報	
適用製品	H8SX/1500シリーズ全製品	対象ロット等	関連資料	H8SX ファミリソフトウェアマニュアル (RJJ09B0048-0300Z Rev. 3.00)	
		全ロット			

H8SXファミリ製品において次のブロック転送命令をご使用の場合、下記の制限事項が適用されます。

本内容をご了解戴き、ご使用下されますように、宜しくお願い致します。

【該当するブロック転送命令】

MOVMD.B MOVMD.W MOVMD.L MOVSD

【制限事項】

MOVMD/MOVSD命令のER5の設定に、以下に示す設定命令1、設定命令2を使用した場合には、それらの設定命令とMOVMD/MOVSD命令を連続させないでください。

[設定命令1] <命令> @<ソース>, ER5/R5/E5/R5H/R5L

<命令>とはソース側にメモリアクセスを含む以下の命令です。

MOV, LDM, MOVFPE, POP

[設定命令2] <命令> <ソース>, ER5/R5/E5/R5H/R5L

<命令>とは以下の算術演算命令(7種類)です。

MULS, MULS/U, MULU, MULU/U, MULXS, MULXU, STMAC

[禁止例]

MOV.L @ER1,ER5 メモリからのロード

MOVMD.B

また、MOVMD.L命令のER6の設定に、以下に示す設定命令1、設定命令2を使用した場合には、それらの設定命令とMOVMD.L命令を連続させないでください。

[設定命令1] <命令> @<ソース>, ER6/R6/R6L

<命令>とはソース側にメモリアクセスを含む以下の命令です。

MOV, LDM, MOVFPE, POP

[設定命令2] <命令> <ソース>, ER6/R6/R6L

<命令>とは以下の算術演算命令(7種類)です。

MULS, MULS/U, MULU, MULU/U, MULXS, MULXU, STMAC

[禁止例]

MOV.L @ER1,ER6 メモリからのロード

MOVMD.L

当社製Cコンパイラ（Renesas H8, H8S, H8SX C/C++ Compiler）においては、以下に示す機能を使用すると、上記の制限事項に該当する場合があります。

これらの機能は使用しないか、アセンブラ出力を確認して該当する場合は、修正してご使用ください。

- ・-eepmov オプション指定
- ・組み込み関数呼び出し(movmd, movsd)
- ・-library=i を指定して memcpy, strcpy をインライン展開
- ・__asm, #pragma asm ~ #pragma endasm によるアセンブラ埋め込み記述

以上